

第37回

福島県建築文化節

(令和3年度)

—— うるおいとやすらぎの
美しいまちづくりを求めて ——

主 催

福島県・(株)福島民報社・(一社)福島県建設業協会・(公社)福島県建築士会

協 賛

(一社)福島県建築士事務所協会・福島県建築設計協同組合
(一社)福島県空調衛生工事業協会・(一社)福島県電設業協会
(一財)ふくしま建築住宅センター・(公社)日本建築家協会福島地域会

後 援

福島県市長会・福島県町村会

《審査委員》

審査委員長	長澤 悟	東洋大学名誉教授			
	渡部 和生	建築家・日本大学工学部特任教授	手塚 由比	建築家	
	早川 博明	前 福島県立美術館長	岡部 明子	東京大学大学院教授	
	木下 庸子	建築家・工学院大学教授	矢森 真人	福島民報社代表取締役会長	

総 評

福島県建築文化賞は、昭和57年に創設され、東日本大震災後の2年間及び昨年度のコロナ禍による中断を挟み本年度で37回目を迎える。

今回の応募作品は合計63点で、公共が35点、民間が28点であった。用途別では、福祉・医療施設等が12点と最も多く、次いで庁舎・事務所等が11点、文化・スポーツ施設等が10点、学校・教育施設が8点、商業施設等、まちなみを形成する建築物群が各7点、複合施設が3点、観光・宿泊施設、工場等が各2点、共同住宅が1点であった。地域別では、中通り27点、浜通り25点、会津11点となった。震災後10年を経て、浜通りの応募作品が増えており、被災地域の復興が着実に進んでいることが伺える。

一次（書面）審査は8月31日、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点からリモート形式で行い、現地審査対象を選出した。審査会に先立ち、予め各委員が応募書類、図面、写真をもとに評価を行い、審査会では賞の趣旨、意義を改めて確認した後、全員が全体的な感想、評価を述べ、予め投票した推薦作品を発表した。過半数の票を得た8作品を選定し、その後、得票のあった作品について議論を重ねた。その結果、現地審査対象として14作品を全会一致で選定した。

二次（現地）審査は10月18日から20日までの3日間にわたって実施し、現地で応募者からの説明を受け質疑応答を行った。後日、各審査委員が正賞、準賞、優秀賞候補として5点、特別部門賞候補として3点、復興賞候補として3点を選び、選定理由と全作品に対するコメントを提出した。

最終審査は11月19日に全審査委員が出席して行った。全員が現地審査を通した印象と評価の観点について述べた後、授賞作品の選考に入り、事前投票の集計結果と各審査委員の推薦理由をもとに、建築の意匠・機能性、周辺環境との調和、建築の動機や目的、東日本大震災からの復興に対する貢献など、賞の多面的な評価基準に照らして議論を重ねた。各作品は規模、用途、計画・建設条件等が異なり、賞の区分による評価も異なることから、選考には困難が伴ったが、本賞の趣旨、評価基準に照らして、最終的に全会一致で、下記のとおり正賞1点、準賞1点、優秀賞3点、特別部門賞3点、復興賞3点を選定した。

■正賞

『須賀川市民交流センター tette』は、図書館を中心として公民館、子育て施設、円谷英二ミュージアムなどが複合し、市民誰にも開かれた新しいタイプの活動・交流施設である。「あそぶ」「まなぶ」「あつまる」等のテーマ毎に設けたフロアを吹抜けにより有機的に積層し、建物の内外にダイナミックな空間を創出するとともに、各フロアには大小様々な広場や居場所を設け、それらをスロープや階段でつなぐことで、人々が行き交い出逢う、それ自体が街のような建築となっている。ワークショップなど市民参加による計画プロセス、市民も一体となった運営と合わせ、共創のまちづくりが魅力的な空間として結実したものとして、建築文化賞正賞にふさわしい。

■準賞

『スマートシティAiCT』は、歴史と伝統を重んじる城下町に、未来に向けて経済活動発展の拠点とすべく構想された、ICT関連事業や会津発ベンチャー企業が入居する建築である。鶴ヶ城を望む歴史的な通りに面した交流棟を、酒蔵など周囲の建物に合わせて高さを抑えた木造平屋とし、周囲の環境と馴染ませるとともに、これと中庭を挟んで中層のビジネス棟を配置することで、街並みの継承と必要な機能・ボリュームの確保を両立している。内外に地域材やCLT等を多用し、企業同士、また地域や学校との交流連携を生み出す開放的で心地よい空間づくりを図るとともに、周辺一帯の今後の景観整備の核とする思想は高く評価できる。

■優秀賞

『塙町立はなわこども園』は、4mの天井高を持つフレームの棟を折り曲げて配置することにより、内外が一体となる空間構成をもつ。保育室としては類を見ない高さと言えるが、鉄骨の細い柱以外の構造体が見えないようにし、町の木材と地元の職人の技術による木製の建具や内装が、開放感と温かみのある子どもの空間を生み出していて新鮮である。セキュリティを確保しつつ、地域に開かれた施設配置と外部空間により、子どもがまちの宝であることを示す建物となっている。

『いわきワイナリーガーデンテラス』は、ぶどう畑を見下ろす丘に、遠景の眺望まで取り込んで立つ小規模ながら存在感のあるワイナリー建築である。障がい者の雇用創出や地域活性化という企画に対して、細部まで神経の行き届いた木の建築の力が加わることで、元の耕作放棄地が潜在的に持っていた魅力を引き出している。土地の高低差を上手く利用し、半地下にワインセラーを設けるなど、敷地条件を効果的に活用し、環境に調和した建築となっている。

『広野こども園（ひろばーく）』は、屋根庇の低さと分節された屋根の重なりが、自ずからここが子どもの世界であることを感じさせる印象的な外観を持つ。建物内部も、子どもの居場所としてのスケール感を大切に、鉄骨造との組み合わせにより材の寸法や軒高さを抑える工夫、開口部等のデザインの配慮が随所にうかがわれる。また、建物全体の高さを抑えることで、建物が立つ丘の上から海への眺望も確保している。

■特別部門賞

『蔵の郵便局（柗窪簡易郵便局）』は、昭和初期に建てられ、国登録有形文化財となり、地域のシンボルとして親しまれていた土蔵が震災で大きな被害を受けたことに対し、地域に開かれた郵便局として生まれ変わったものである。建物を残そうとした建築主の決断に対し、専門家が集まり、職人の技術力により完成した建物は、懐かしくも新しい自然な仕上がりとなっている。この間の修復・再生に対する関係者の情熱あふれる丁寧な取組は高く評価できる。

『石川町文教福祉複合施設 モトガッコ』は、廃校となった小学校を、元の3階建から平屋と2階建に減築して耐震性を高めた上、公民館、図書館、子育て支援施設等の複合施設として再生したものである。手を入れるべき箇所の判断を的確にし、改修ならではの建築に仕立て、学校が担ってきた地域の核としての役割を継承する場が、設計者、支援組織、町民が一体となったプロセスで実現され、運営されていることは高く評価でき、全国の廃校利用のモデルともなり得るものと言える。

『NIPPONIA 柗山集落』は、山深い限界集落にある築120年の蔵と納屋を、自然の中で生活を楽しむ宿泊施設に改修したもので、その着想は、関係人口を増やすことにより持続可能な地域づくりにも繋がる可能性を持つ。周囲の景観や土地形状の特色を取り込み、元々の構造材を生かしながら空間自体をアートとして見せるアイデアが様々な実感できる建築となっている。

■復興賞

『みんなの交流館 ならはCANvas』は、避難指示が解除された町に帰還する住民のために作られた交流施設である。震災からの地域復興に心を寄せるNPOや設計者が住民とのワークショップを重ね、様々な思いを受け止めながら計画が進められ、完成後は運営支援を行っていることは高く評価できる。周囲に開かれた大きく明るいガラスの箱と、それを覆う木組みのダイナミックな梁と屋根が、住民が集まる地域のリビングとしてのシンボル性や居心地の良さを実現している。

『葛尾村復興交流館あぜりあ ロハス蔵』は、避難指示解除に伴い帰村する人たちのための復興交流館と土蔵の改修である。大学の研究室との連携により、周辺環境の特性や古民家の解体材の利用など、建築や景観に関わる様々な地域資源を生かして計画されている。住民参加による運営体制が整えられたことで、避難先から戻った人々の出会いや交流の場となるだけでなく、村の風土と歴史をつなぐ絆として機能している。

『福島県立ふたば未来学園中学校・高等学校』は、双葉郡内の高校5校が閉校となったのに対し、地域復興を担い、世界に雄飛する若者が学ぶ場を地域にという想いに応じて構想された中高一貫校である。ECC（エデュケーショナル・コンコース）と呼ばれる湾曲した屋外モールを挟んで、教室棟・ホール・アリーナ棟などが敷地の勾配を生かして低層で配置され、その中心には地域の人々に開かれ、NPOが教育を支える地域協働スペースが居心地よい空間として設けられている。地域との共創による新たな高校像を示した計画と言える。

現地審査対象となりながら、惜しくも選外となった作品にも、本賞の趣旨に照らしてそれぞれ見どころがあり、授賞作品に劣らぬ評価を得た。

『小名浜テラスハウス』は、5棟の店舗付住宅をランダムに配置し、建物間の外部空間と合わせ、道路に対してユニークな表情を見せている点で興味深い。

『さいたま市立館岩少年自然の家新館』は、厳しくまた豊かな自然環境の中に、旧館と向き合う位置にあるという敷地特性を分析し、建物のデザインや性能を総合的に追求する姿勢が評価を得た。

『福島ロボットテストフィールド』は、ロボットに関する技術開発の一大拠点を構成する施設であり、特色ある構造形式を用いた研究・実験施設が内外一体の交流空間を生み出すように配置されている。

震災後10年を経過した本年の応募作品には、地域住民の声を反映し、地域住民に寄り添った複合施設や交流施設の名を冠する公共施設が見られた。東日本大震災と原子力災害を経験した福島県における復興・創生に向けた歩みの中で、地域の未来をつくる人々が交流し、活動する場となる建築は、箱としての機能だけではなく、使われ方や運営についても、福島の先進的な取組が表れている。震災により社会状況が10年先に進んだと言われる福島県だからこそ実現できたであろう、10年先を先取りした新しいタイプの建築と言えよう。

一方、既存の建築を改修し、新たな建築に再生する取組も数多く見られた。建築主、設計者、施工者等の、地域の歴史、風土、文化に対する理解や積み重ねてきた想い、様々な分野の専門家と地域住民との協働、多くの人々が関わることにより、建築に対する愛着や親しみが生み出されている。時を重ねた古い建築に、最新の技術を取り入れ、生まれ変わった新たな建築は、過去・現在・未来をつなぐ建築の在り方の一つを示している。

これらの建築は、地域コミュニティの形成や再生、様々な文化活動を生み出す社会的基盤として地域の人々に使われ、時を重ねることで愛着が深められ、より地域に根ざした建築となり、やがて生活や風景の一部となる。その積み重ねにより、福島県の建築文化が形づくられていく。

現地審査では、設計、施工、管理・運営のそれぞれの関係者から、作品に込めた想いやストーリーを熱心にお話しいただいた。審査を通して「建築とは」「建築文化とは」「地域と建築とは」について改めて深く考えさせられた。今回の受賞作品を通じて、県民の皆様にも同じ思いを共有し、地域の歴史や風土、文化等を大切にしたい建築、地域づくりを進める契機となれば幸いである。

最後に、今回御応募いただいた関係者に対して、審査委員一同深く敬意と謝意を表します。

審査委員長 長澤 悟

◆ 建築文化賞



© Kawasumi-Kobayashi Kenji Photograph Office



© Kai Nakamura



© Kawasumi-Kobayashi Kenji Photograph Office

須賀川市民交流センター tette …………… 須賀川市

(建築主) 須賀川市

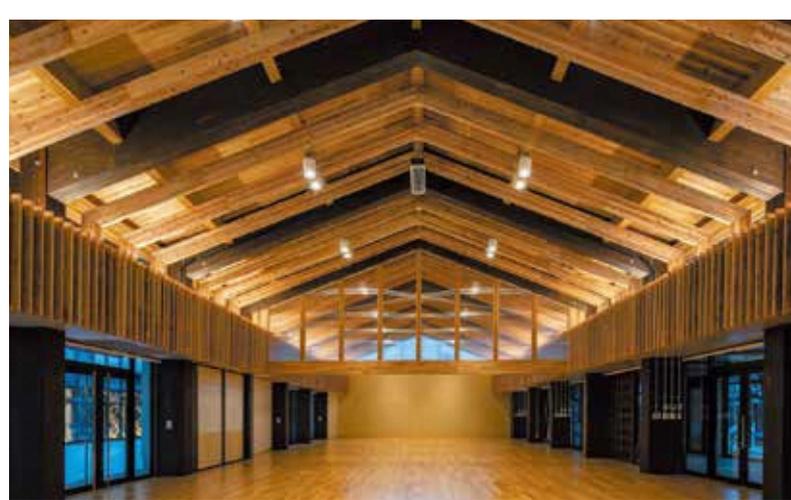
(設計者) 石本・畝森特定設計共同企業体

(施工者) 三井住友・三柏特定建設工事共同企業体

『須賀川市民交流センター tette』は、図書館を中心として公民館、子育て施設、円谷英二ミュージアム、さらにはコンビニまでを複合し、市民誰にも開かれた新しいタイプの活動・交流施設である。「あそぶ」「まなぶ」「あつまる」等のテーマ毎に設けたフロアを吹抜けにより有機的に積層し、建物の内外にダイナミックな空間と形態を創出するとともに、それらを結ぶスロープや階段に面して大小様々な空間を設け、場所に応じたテーブル、椅子、書架・展示棚等により、思い思いの活動の場、居場所を選ぶことができる。街路整備が進められてきた表通りに面したエントランスから続くtette通りと名付けられた通り抜け空間には、コンビニ、カフェ、イベントスペース等が設けられ、それ自体が街のような建築となっている。延べ35回に及ぶというワークショップなど市民参加による計画プロセス、市民も一体となった運営と合わせ、共創のまちづくりが魅力的な空間として結実している。

の 紹 介

◆ 建築文化賞準賞



スマートシティAiCT …………… 会津若松市

(建築主) 株式会社AiYUMU、会津若松市

(設計者) 株式会社白井設計

(施工者) 戸田・会津土建・ハッ橋・アークズ会津特定建設工事共同企業体

『スマートシティAiCT』は、歴史と伝統を重んじる城下町に、未来に向けて経済活動発展の拠点とすべく構想された、ICT関連事業や会津発ベンチャー企業が入居するテナントオフィスビルである。これを単なる建築事業ではなく、鶴ヶ城を望む桜並木、酒蔵に反対するという敷地のもつ特長に着目し、失われかけてきたまち中心部の歴史的景観の価値を市民に再認識させ、またその価値が外からの企業の参入や人の流れを生み出す力としようとした設計者を始めとする関係者の構想は高く評価される。通りに面して周囲の建物に合わせて高さを抑えた木造平屋の交流棟を配置することにより周囲の環境と馴染ませるとともに、街並みの連続性を生み出し、これと中庭を挟んで中層のビジネス棟を配置することで必要な機能・ボリュームを確保しており、また、内外に地域材やCLT等多用し、企業同士、また地域や学校との交流連携を生み出す開放的で心地よい空間づくりがなされている。地域の活性化と歴史的景観を生かしたまちづくりを見事に両立している。

(順不同)

◆ 優秀賞

基町立はなわこども園…………… 基町
 (建築主) 基町
 (設計者) エーユーエム構造設計株式会社
 (施工者) 藤田・深谷特定建設工事共同企業体

『基町立はなわこども園』は、4mの天井高を持つフレームの棟を折り曲げて配置することにより、内外が一体となる空間構成をもつ。保育室としては類を見ない天井高と言えるが、鉄骨の細い柱以外の構造体が見えないようにし、町の木材と地元の職人の技術による木製の建具や内装があいまって、開放感と温かみのある子どものための空間を生み出しており、新鮮である。道路に面して地域に開かれた大きな軒下空間や広場、地域利用が想定される諸室を設け、その先に園舎や園庭を配置することにより、セキュリティを確保しつつ子どもの活動の様子が目に入り、子どもがまちの宝であることを示す建物となっている。



◆ 優秀賞

いわきワイナリーガーデンテラス…… いわき市
 (建築主) 特定非営利活動法人みどりの杜福祉会いわきワイナリー
 (設計者) 有限会社ハコプラスデザイン
 (施工者) 有限会社ハコプラスデザイン

『いわきワイナリーガーデンテラス』は、緩斜面のぶどう畑を見下ろす丘に、遠望できる山の眺望まで取り込んで立つ木造のワイナリー建築である。建築・家具・造作が一体となり、細部までデザインの配慮がなされ、木の建築の力が加わることで、小規模ながら存在感のある建築、気持ちのよい空間となっている。障がい者の雇用創出や地域活性化という建築主の企画に対して、元の耕作放棄地が潜在的に持っていた魅力を発見し、引き出している。土地の高低差を上手く利用し、半地下にワインセラーを設けるなど、敷地条件を効果的に活用し、周囲の環境によく調和した建築となっている。



撮影:鈴木穂蔵

◆ 優秀賞

広野こども園(ひろぱーく)…………… 広野町
 (建築主) 広野町
 (設計者) 関・空間設計・生物建築舎設計共同企業体
 (施工者) 横山・西本特定建設工事共同企業体

『広野こども園(ひろぱーく)』は、屋根庇の低さと分節された屋根の重なりが、自ずからここが子どもの世界であることを感じさせるスケール感と印象的な外観を持つ。建物内部も、子どもの身体寸法や、活動場所・居場所としてのスケールや素材感を大切に、鉄骨造との組み合わせにより材の寸法や軒高さを抑える工夫、開口部等のデザインの配慮が随所にうかがわれる。また、建物全体の高さを抑えることにより、それが立つ丘の上から海への眺望を確保している。



撮影:浜田 昌樹(kkpo)

の 紹 介

(順不同)

◆ 特別部門賞

蔵の郵便局(栃窪簡易郵便局) … 南相馬市
(建築主) 大谷芳江
(設計者) 有限会社菊地設計
(施工者) 三浦工匠店有限公司

『蔵の郵便局(栃窪簡易郵便局)』は、昭和初期に建てられ、国登録有形文化財ともなり、地域のシンボルとして親しまれていた土蔵が東日本大震災で大きな被害を受けたことに対し、修復するのに止まらず、新たに地域に開かれた郵便局として生まれ変わらせ、高麗門とともに地域の歴史を継承したものである。建物を残そうとした建築主の決断と思いを受け止め、有識者、設計者、施工者、左官職人らが協働し、職人の技術力により完成した建物は、懐かしくも新しい自然な仕上がりとされている。この間、その価値や意義を幅広く共有できるようにと、ワークショップの開催や情報発信等を重ねた関係者の努力は高く評価でき、建築文化の理解、保存再生技術、実現プロセス等が総合されて生み出した成果となっている。



撮影:SPHOTO 鈴木紳五

◆ 特別部門賞

石川町文教福祉複合施設 モトガッコ … 石川町
(建築主) 石川町
(設計者) 株式会社ワークヴィジョンズ、株式会社梓設計
(施工者) 鉄建建設株式会社東北支店

『石川町文教福祉複合施設 モトガッコ』は、廃校となった小学校を、元の3階建から平屋と2階建に減築して耐震性と解放感を高めた上、公民館、図書館、子育て支援施設等の複合施設として再生したものである。手を入れるべき箇所の判断を的確にし、建物内に残した元の学校の面影が、卒業生や地域住民の記憶や思い出を受け止め、改修ならではの地域に密着した建築に仕立て上がっている。学校が担ってきた地域の核としての役割が、設計者、支援組織、町民が一体となったプロセスで継承され、官民一体となって運営されていることは高く評価でき、全国の廃校利用のモデルともなり得るものと言える。

撮影:小川重雄

◆ 特別部門賞

NIPPONIA 檜山集落 … 西会津町
(建築主) 一般社団法人BOOT
(設計者) 有限会社才本建築事務所
(施工者) 有限会社建築工房新田

『NIPPONIA 檜山集落』は、山深い限界集落にある築120年の蔵と納屋を、自然の中で生活を楽しむ宿泊施設に改修したもので、その着想は、関係人口を増やすことにより持続可能な地域づくりにも繋がる可能性を持つ。また、活用を通して年数を経た建築の保存を可能とする好事例として社会的価値が認められるものと言える。周囲の景観や土地形状の特色を取り込み、元々の構造材を生かしながら、建物・空間自体をアートとして見せるアイデアが随所に実感できる建築となっている。



©Katsuhiro Noguchi.

受賞作品の紹介

(順不同)



©高橋菜生写真事務所

◆ 復興賞

みんなの交流館 ならはCANvas…………… 檜葉町
(建築主) 檜葉町
(設計者) 有限会社都市建築設計集団
(施工者) 合資会社諸橋建設工業

『みんなの交流館 ならはCANvas』は、避難指示が解除された町に帰還する住民のために、そこに行けば皆に会える場として構想された交流施設である。震災からの地域復興に心を寄せるNPOや設計者が住民とのワークショップを重ねながら計画を進め、完成後は運営支援まで行っていることは高く評価できる。周囲に開かれた大きく明るいガラスの箱と、それを覆う木組みのダイナミックな梁と屋根が、住民が集まる地域のリビングとしてのシンボル性や居心地の良さを実現している。また、屋外ステージにつながるサッシは全開放できるようになっており、芝生の広場やキャノピーなど外部空間と一体的に利用することで、人々の交流促進が図られている。

◆ 復興賞

○葛尾村復興交流館あぜりあ
ロハス蔵…………… 葛尾村
(建築主) 葛尾村
(設計者) 株式会社はりゅうウッドスタジオ、
日本大学工学部浦部智義研究室(計画監修)
(施工者) ハギハラ株式会社(復興交流館)
株式会社菅野建築店(ロハス蔵)

『葛尾村復興交流館あぜりあ ロハス蔵』は、避難指示解除に伴い帰村する人たちのための復興交流館であり、大学の研究室との連携により、敷地内に残っていた土蔵の保存再生とロハスの思想・技術の実践を総合したプロジェクトとなっている。周辺環境の特性や村の古民家の特長である長い一本梁の解体材の利用など、建築や景観に関わる様々な地域資源を生かして計画され、変化に富んだ平面形と屋根の表情の変化が印象的であり、縦ログ工法の量感のある木の壁が温もりのある空間を生み出している。住民参加によって運営方針が検討されたことで、交流館が村の風土と歴史をつなげる絆としても機能している。



撮影:高橋菜生

◆ 復興賞

福島県立ふたば未来学園中学校・高等学校… 広野町
(建築主) 福島県教育委員会
(設計者) 辺見・阿部設計共同体
(施工者) 田中・堀江特定建設工事共同企業体(建築)
高柳電設工業株式会社(電気)
北関東空調工業株式会社 他(空調)
伊藤冷機工業株式会社 他(衛生)

『福島県立ふたば未来学園中学校・高等学校』は、双葉郡内の高校5校が閉校となったのに対し、地域復興を担い、世界に雄飛する若者が学ぶ場を地域にという想いに応えて構想された中高一貫校である。ECC(エデュケーショナル・コンコース)と呼ばれる湾曲した屋外モールを挟んで、教室棟・ホール・アリーナ棟などが敷地の勾配を生かして低層で配置されており、各施設は木造の普通教室棟をはじめ特色ある空間設計がなされ、学校生活の多様な交流や動きを生み出そうとしている。特に中央部に配置された地域協働スペースは、地域の人々に開かれ、またNPOが教育を支える拠点ともなっており、地域との共創による新たな高校像を示すものとして高く評価できる。



©2021 有限会社辺見設計

第37回福島県建築文化賞

福島市 キッズガーデンなごみ

福島市



社会福祉法人なごみ
有限会社湧設計
株式会社晃建設

福島市 高野医院・アクト調剤薬局

福島市



高野真
株式会社設計室NOAH
株式会社亀岡工務店

福島市 特別養護老人ホーム「いづみの郷」

福島市



社会福祉法人なごみ
有限会社湧設計
株式会社晃建設

福島市 土湯温泉町地区都市再生整備計画事業

福島市



福島市
有限会社桂建築設計事務所
株式会社梅津工業
亀岡・梅津特定建設工事共同企業体

福島市 HANGAR1 (ハンガーワン)

福島市



株式会社パスファインダー
株式会社ファーイースト・デザイン・ラボ
菅野建設工業株式会社

福島市 幼保連携型認定こども園 北沢又のぞみの花こども園

福島市



社会福祉法人愛和会
株式会社杜設計
大丸・安齋特定建設工事共同企業体

福島市 真浄院書院

福島市



宗教法人真浄院
有限会社佐藤憲司建築設計事務所
株式会社山川

二本松市 空の庭 チャペル「ブローニユの森」

二本松市



株式会社靴屋
株式会社設計室NOAH
ヤマニ建設株式会社

福島市 てぞーろ保育園

福島市



社会福祉法人矜持福祉会
株式会社相坂研介設計アトリエ
株式会社古俣工務店

伊達市 道の駅 伊達の郷りょうぜん

伊達市



国土交通省
伊達市
株式会社中山建築研究所
佐藤建設株式会社(建築)
斎藤電建工業株式会社(電気・機械設備)

福島市 NCVふくしまアリーナ(福島市体育館・武道場)

福島市



福島市
佐藤総合・小島建築設計共同企業体
佐藤・菅野・安藤特定建設工事共同企業体

伊達市 伊達市保原総合公園簡易宿泊所とまっぺ

伊達市



伊達市
NOB設計工房
株式会社酒井東栄コーポレーション(建築)
佐藤電設工業株式会社(電気)
斎藤電建工業株式会社(機械)

福島市 三育幼稚園 園舎

福島市



学校法人三育学園
RA建築計画 JUST DO IT設計共同体
菅野建設株式会社

本宮市 まゆみアリーナ

本宮市



本宮市
有限会社真島・建築設計事務所
菅野建設工業株式会社

応募作品一覧（受賞作品以外）

川俣町	ミツフジ福島工場	 <p>ミツフジ株式会社 株式会社MAパートナーズ 川田工業株式会社</p>	西郷村	まるごと西郷館	 <p>西郷村 パシフィックコンサルタンツ株式会社 東北支社 株式会社佐久間組</p>					
郡山市	宗教法人生長の家 福島県教化部新会館	 <p>宗教法人生長の家 福島県教化部 八光建設株式会社 八光建設株式会社</p>	棚倉町	東白川郡森林組合事務所	 <p>東白川郡森林組合 有限会社辺見設計 藤田建設工業株式会社</p>					
須賀川市	須賀川市立第二小学校	 <p>須賀川市 株式会社惟建築計画 株式会社横山建設(建築) 株式会社ニイダテック(電気) 株式会社共設(機械)</p>	矢祭町	矢祭町軽費老人ホーム	 <p>矢祭町 株式会社清水公夫研究所 株式会社田村工務店</p>					
須賀川市	須賀川市庁舎	 <p>須賀川市 株式会社佐藤総合計画 東北オフィス 安藤・間・笠原工業特定建設工事共同企業体(本体工事) 三瓶重機建設株式会社(杭工事)</p>	会津若松市	学校法人若松幼稚園 認定こども園若松第三幼稚園	 <p>学校法人若松幼稚園 株式会社田建築設計事務所 会津土建株式会社</p>					
白河市	グラン大町	 <p>有限会社藤田本店 株式会社斎藤建築設計事務所 藤田建設工業株式会社</p>	会津若松市	会津若松市立城北小学校北東棟	 <p>会津若松市 有限会社和泉設計 会津土建株式会社</p>					
白河市	小峰城歴史館	 <p>白河市 株式会社鈴木建築設計事務所 永野土木建設株式会社</p>	会津坂下町	会津若松地方広域市町村圏整備組合 会津坂下消防署	 <p>会津若松地方広域市町村圏整備組合 株式会社創ライフ研究室 株式会社東北入谷まづくり建設(建築) 株式会社佐藤電設(電気) 八ッ橋設備株式会社(機械)</p>					
西郷村	スパホテルあぶくま新館	 <p>藤田建設工業株式会社 株式会社バスクデザイン 藤田建設工業株式会社</p>	<p>建築物名称 ★印：第一次審査通過作品</p> <table border="1"> <tr> <td rowspan="3">所在地</td> <td rowspan="3">建築物全景</td> <td>(建築主)</td> </tr> <tr> <td>(設計者)</td> </tr> <tr> <td>(施工者)</td> </tr> </table>			所在地	建築物全景	(建築主)	(設計者)	(施工者)
所在地	建築物全景	(建築主)								
		(設計者)								
		(施工者)								

第37回福島県建築文化賞

柳津町

地域住民交流センター「ゆきげ館」



柳津町
有限会社和泉設計
滝谷建設工業株式会社

喜多方市

木'S(きっず)保育園



menkoi株式会社
TOJO設計工房
滝谷建設工業株式会社

西会津町

西会津町役場



西会津町
株式会社清水公夫研究所
滝谷建設工業株式会社

南会津町

南会津町立伊南学校給食センター



南会津町
有限会社辺見設計
株式会社新井組
有限会社谷地電気
会津ガス株式会社田島営業所
有限会社保科管工業

南会津町

麺や 焚く蔵



有限会社Monsieur-夢酒
株式会社大桃建設工業
株式会社大桃建設工業

南会津町

さいたま市立館岩少年自然の家新館 ★



さいたま市
株式会社久米設計
安藤ハザマ・山崎特定共同企業体

相馬市

株式会社小野中村本社



株式会社小野中村
株式会社社設計
株式会社小野中村

南相馬市

南相馬市健康福祉センター「ゆらっと」



南相馬市
株式会社関・空間設計
石川建設工業株式会社(建築)
恒栄総合設備株式会社(電気・機械)

南相馬市

小高交流センター



南相馬市
山本堀・URリンケージ設計共同体
株式会社中里工務店
株式会社でんぎや
セントラル住設株式会社

南相馬市

福島ロボットテストフィールド ★



福島県
山本堀・URリンケージ設計共同体
パシフィックコンサルタンツ株式会社
関場・藤特定建設工事共同企業体
光洋・三浦特定建設工事共同企業体
セントラル住設・山元特定建設工事共同企業体
横山建設工業株式会社

南相馬市

福島県立相馬支援学校



福島県教育委員会
株式会社田畑建築設計事務所
大豊・常磐特定建設工事共同企業体

広野町

広野町防災緑地公園管理棟



福島県
株式会社和田建築設計事務所
田中建設株式会社

広野町

馬場医院



馬場医院
株式会社永山建築設計事務所
常磐開発・西本建設特定建設工事共同企業体

檜葉町

ならはスカイアリーナ



檜葉町
株式会社山下設計東北支社
前田建設工業株式会社東北支店
三共設備株式会社

応募作品一覧（受賞作品以外）

大熊町	<p>大熊町役場</p>  <p>大熊町 鹿島建設株式会社 鹿島建設株式会社東北支店</p>	いわき市	<p>レクサスイワキ</p>  <p>福島トヨタ自動車株式会社 株式会社邑建築事務所 株式会社加地和組</p>
双葉町	<p>双葉駅</p>  <p>東日本旅客鉄道株式会社水戸支社双葉町 東日本旅客鉄道株式会社水戸支社株式会社JR東日本建築設計 東鉄工業株式会社水戸支店</p>	いわき市	<p>福島県水産海洋研究センター</p>  <p>福島県 株式会社ティ・アール建築アトリエ 三崎組・福浜大一建設 特定建設工事共同企業体</p>
浪江町	<p>災害公営住宅集会所</p>  <p>浪江町 株式会社SAWATA 株式会社佐藤商事建設</p>	いわき市	<p>社会福祉法人いわき厚生会 むつみ保育所</p>  <p>社会福祉法人いわき厚生会 株式会社永山建築設計事務所 堀江工業株式会社</p>
飯舘村	<p>大師堂住宅団地</p>  <p>飯舘村 株式会社はりゅうウッズスタジオ 関場建設株式会社</p>	いわき市	<p>小名浜テラスハウス ★</p>  <p>株式会社AtelierMalm 株式会社AtelierMalm 株式会社AtelierMalm</p>
いわき市	<p>ベストファームいわき</p>  <p>ベストファーム株式会社 清正崇建築設計スタジオ 東日本ダイワ株式会社 東日本ダイワ株式会社</p>		
いわき市	<p>一般社団法人いわき市医師会附属准看護学校</p>  <p>一般社団法人いわき市医師会 常磐開発株式会社 常磐開発株式会社</p>		
いわき市	<p>いわきグリーンベース</p>  <p>いわき市 株式会社梓設計 常磐開発・渡辺組特定建設工事共同企業体</p>		

建築物名称 ★印：第一次審査通過作品

所在地

建築物全景

(建築主)

(設計者)

(施工者)

受賞作品の位置図

第1回～第37回

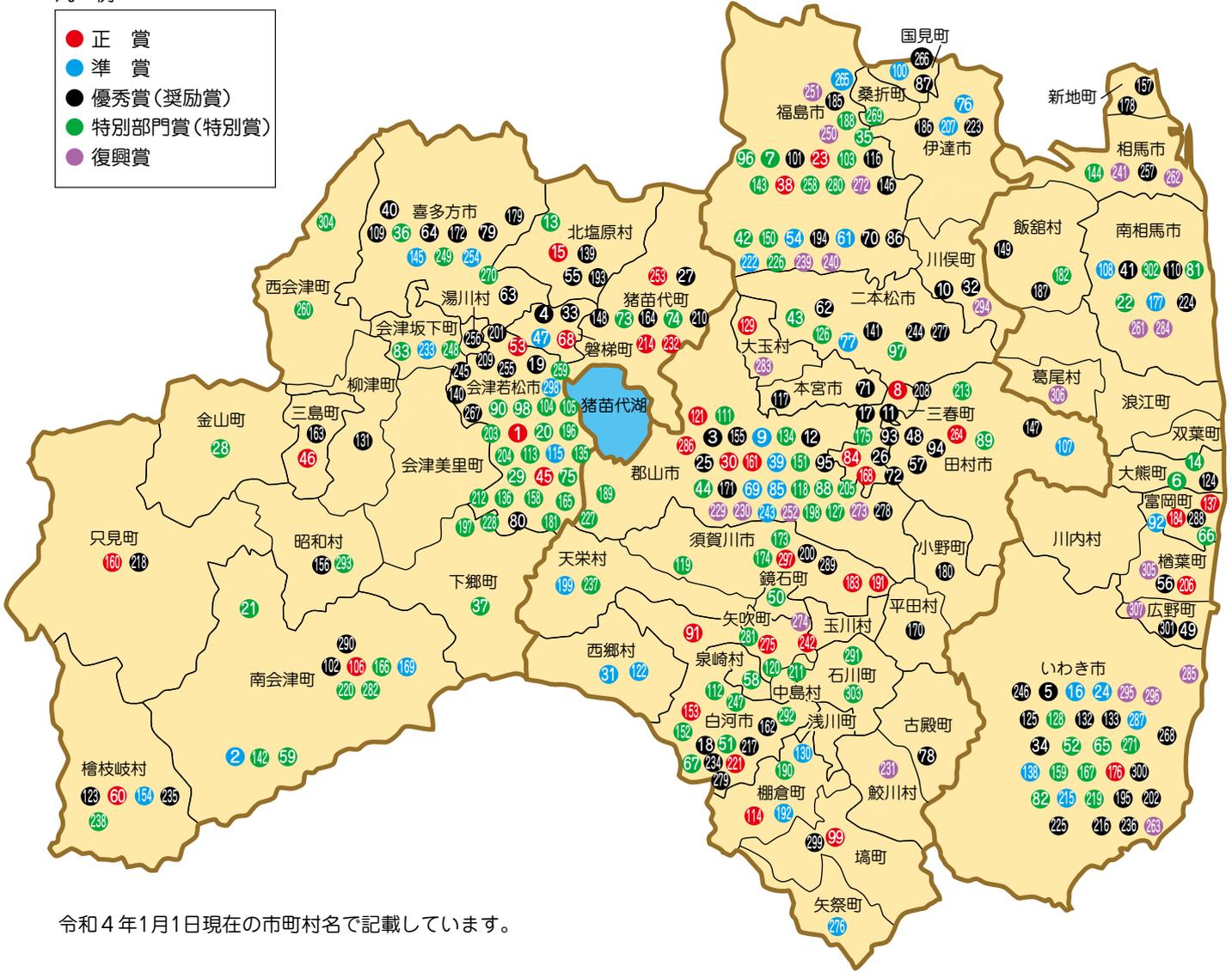
会津地方

中通り地方

浜通り地方

凡例

- 正賞
- 準賞
- 優秀賞(奨励賞)
- 特別部門賞(特別賞)
- 復興賞



令和4年1月1日現在の市町村名で記載しています。

入賞作品一覧

年度	回数	応募件数	建築文化賞	建築文化賞準賞	奨励賞	特別部門賞
57	1	74件	① 鈴善煉瓦蔵・髯の辻大津加本店による街並	② 大宮市立自然の家(舘岩村所在)	③ 郡山市立図書館・視聴覚センター ④ 磐梯町役場庁舎 ⑤ いわき市立総合体育館	⑥ 大熊町役場庁舎 ⑦ ニュー福ビル
58	2	31件	⑧ 特別養護老人ホームあぶくま荘	⑨ 学校法人郡山開成学園つつじ館	⑩ 川俣町中央公民館 ⑪ 三春町民体育館 ⑫ 共同住宅アピタシオン・桑野、シャトー・アナザワ	⑬ 北塩原村役場庁舎・コミュニティセンター ⑭ 大熊町立大野小学校

年度	回数	応募件数	建築文化賞	建築文化賞準賞	奨励賞	特別部門賞
59	3	43件	15 裏磐梯高原ホテル	16 福島県いわき工業試験場	17 三春第一保育所 18 呉服・上の片野屋 19 河東町役場庁舎	20 輪箱めし田季野 21 南郷体育館 22 小高町立病院・小高町老人福祉センターによる街並
60	4	18件	23 福島ホール（音楽堂、働く婦人の家、勤労青少年ホーム）	24 いわき市立美術館	25 クローネ郡山 26 三春町歴史民族資料館 27 日立健保猪苗代保養所	28 金山町多目的研修センター 29 上菓子司会津菜本店
61	5	35件	30 郡山市民文化センター	31 信越半導体株式会社 白河工場	32 川俣町立川俣南小学校 33 磐梯町公民館 34 報徳苑	35 文化施設環境整備協力事業 36 会津信用金庫喜多方支店 37 下郷町町並み展示館
62	6	41件	38 福島県立美術館・図書館	39 開成柏屋	40 山都町立山都中学校 41 夜の森パークサイドテラス	42 ラジオ福島スタジオ 43 霞ヶ城箕輪門 44 郡山開成学園建学記念講堂
63	7	43件	45 福島県立博物館 46 三島町生活工芸館	47 磐梯山慧日寺資料館	48 船引町立船引中学校 49 広野町立広野小学校	50 鏡石町コミュニティセンター 51 日本ルセル株式会社白河工場 52 いわき明星大学
元	8	34件	53 会津藩校日新館	54 日本ベクトン・ディッキンソン福島工場	55 磐梯山噴火記念館 56 檜葉町サイクリングターミナル 57 わかくさ幼稚園	58 泉崎村立泉崎中学校 59 舘岩村立舘岩村中学校
2	9	50件	60 檜枝岐村尾瀬の郷交流センター・檜枝岐村民体育館	61 福島市古閑裕和記念館	62 グリーンピア二本松 63 塩川町立堂島小学校 64 喜多方下田郵便局	65 ウッドピアいわき 66 富岡町野外活動センター 67 南湖公園公衆トイレ
3	10	39件	68 栄川酒造株式会社 磐梯工場	69 郡山ユラックス 熱海	70 福島市信夫支所及び信夫公民館 71 白沢村ふれあい文化ホール 72 三春町中郷学校	73 本田技研健康保険組合健康増進センターいなわしろ荘 74 ホテルブルミエール箕輪 75 大川荘「宵待亭」
4	11	45件		76 梁川町役場庁舎 77 二本松市城山総合体育館	78 古殿町役場庁舎 79 福島地方法務局喜多方出張所 80 会津若松市立第二中学校	81 東北電力株式会社総合技術訓練センター 82 割烹谷口楼 83 会津西部斎苑
5	12	31件	84 三春町立桜中学校	85 福島県ハイテクプラザ	86 アメニティふくぎん'91 87 森江野小学校校舎並びに森江野幼稚園園舎	88 ホテルハマツ 89 常葉町こどもの国ムシムシランド 90 株式会社江戸屋重度障害者多数雇用事業所
6	13	78件	91 中山義秀記念文学館	92 富岡町役場庁舎・保健センター	93 三春町・船引町学校組合立要田中学校 94 船引町文化センター 95 郡山市民立美術館	96 青少年教育宿泊研修施設（立子山自然の家） 97 岩代町図書館 98 会津名匠華蔵・神禧堂 薬館・山葵
7	14	68件	99 塙町コミュニティプラザ・塙町立図書館	100 国見町観月台文化センター	101 福島市国体記念体育館 102 御蔵入の里	103 鯖湖湯 104 会津葵シルクロード文明館 105 パーラーぼたん
8	15	65件	106 福島県立南会津病院	107 都路村役場庁舎 108 福島県立浜高等技術専門学校	109 喜多方蔵の里 110 野馬追の里歴史民俗資料館	111 四季彩一力 112 松楽亭（翠楽苑） 113 渋川問屋別館

年度	回数	応募件数	建築文化賞	建築文化賞準賞	奨励賞	特別部門賞
9	16	62件	114 棚倉町文化センター	115 会津ガス本社ビル	116 社会福祉法人福島愛育園 117 本宮体育館	118 くに屋 119 水と緑のふれあいランド 120 JR 矢吹駅+周辺計画
10	17	59件	121 太田総合病院附属老人保健施設桔梗	122 白河光彩荘	123 尾瀬御池ロッジ・尾瀬櫛の森ミュージアム 124 大熊町図書館 125 福島県いわき海浜自然の家	126 福島介護福祉専門学校 127 学校法人郡山開成学園創学館 128 木のまち里山
年度	回数	応募件数	建築文化賞	建築文化賞準賞	優秀賞(賞名変更)	特別部門賞
11	18	63件	129 ふくしま県民の森「フォレストパークあだたら」	130 棚倉町立社川小学校	131 やないつ町立斎藤清美術館 132 いわき市立草野心平記念文学館 133 いわき市健康・福祉プラザ「いわきゆったり館」	134 アドミラル 135 福西本店(福西本店、大町ガス燈、大坂屋伊兵衛) 136 七日町通り下の区町並み協定地区内
12	19	60件	137 リフレ富岡	138 いわき市暮らしの伝承郷	139 諸橋近代美術館 140 北会津村役場庁舎 141 あだたら清流センター	142 前沢曲家集落 143 ヘアーサロン三角ビル 144 IHI 相馬工場
13	20	66件		145 有限会社蔵見世	146 梅苑会館 147 グリーンパーク都路「草原の家やすらぎ」 148 福島県ばんだい荘 149 特別養護老人ホーム「いいたてホーム」	150 福島ルンビニー幼稚園 151 中町再開発ビル(郡山中町第一地区第1種市街地再開発事業施設建築物) 152 JR東日本総合研修センター
14	21	69件	153 福島県文化財センター白河館まほろん	154 檜枝岐村地域資源活用総合交流促進施設「燧の湯1号館」	155 特別養護老人ホーム玉川ホーム(増築) 156 からむし織の里(からむし工芸博物館・織姫交流館) 157 新地町立駒ヶ嶺小学校	158 史跡若松城跡 干飯櫓・南走長屋 159 アクアマリンふくしま
15	22	55件	160 只見町立只見小学校 161 福島県立郡山養護学校		162 東村保健福祉センター 163 尾瀬街道・三島宿 164 猪苗代町立東中学校	165 プリスクール水輝 166 御蔵入の里 会津山村道場 森の体験館 167 安濃胃腸科内科医院
16	23	56件	168 三春交流館まほら	169 柏屋	170 太田看護専門学校 171 特別養護老人ホームよもぎ荘 172 福島県営住宅東桜ガ丘団地	173 なのはな保育園 174 須賀川市立西袋中学校屋内運動場 175 秋田山 龍稔院 庫裡・書院
17	24	68件	176 福島県立いわき光洋高等学校	177 特別養護老人ホーム梅の香	178 新地町役場庁舎 179 田原屋菓子店 180 小野町火葬場「おの悠苑」	181 七日町駅(JR只見線) 182 公営住宅笠石団地
18	25	73件	183 福島エコムスパビリオン・SUS福島工場 184 富岡町文化交流センター「学びの森」		185 飯坂支所・飯坂学習センター 186 伊達市役所・保原総合支所(旧保原町役場) 187 飯館村立飯樋小学校	188 福島片岡鶴太郎美術館庭園「松鶴苑」 189 郡山市立湖南小学校 190 集いの小径
19	26	63件	191 SUS福島工場社員寮	192 棚倉の茶界「Cafe'sBond 141」	193 裏磐梯ビジターセンター 194 福島県消防学校 195 ハニース社員寮	196 農業併用住宅(栗城邸) 197 大内の御柱物語 198 郡山市立三穂田中学校体育館
20	27	56件		199 浦和ルーテル学院山の上学校	200 須賀川市立仁井田中学校屋内運動場 201 会津若松市立河東学園小学校 202 いわき明星大学薬学部棟	203 会津東山温泉 御宿東鳳 204 原瀧・今昔亭 川床 205 特別養護老人ホームハーモニーみどりヶ丘
21	28	51件	206 楡葉町立あおぞらこども園	207 御代田コミュニティセンター	208 MARUWA QUARTZ三春工場4号棟 209 よつばcafe 210 猪苗代町立緑小学校・屋内運動場	211 中島村生涯学習センター「輝ら里」 212 県営住宅八日町団地 213 移の丘のトイレ

年度	回数	応募件数	建築文化賞	建築文化賞準賞	優 秀 賞 (賞名変更)	特別部門賞	
22	29	56 件	241 猪苗代町体験交流館「学びいな」	245 白ばら幼稚園	246 高野山真言宗冷泉寺 247 作楽(さくら) 248 只見町立明和小学校	219 いわき平競輪場 220 雪国型 広域中山間地医療施設 あべクリニック	
年度	回数	応募件数	建築文化賞	建築文化賞準賞	優 秀 賞	特別部門賞	復 興 賞
25	30	52 件	221 白河市立図書館	222 長楽寺禅堂	223 伊達市立保原小学校 224 南相馬市立中央図書館・市民情報交流センター 225 いわき幼稚園	226 飯坂温泉「旧堀切邸」 227 アドリア 北出丸カフェとその周辺地域 228 会津能楽堂	229 郡山総合運動場 開成山野球場 230 「ロハスの家」群 231 村民保養施設 さぎり荘
26	31	30 件	232 猪苗代のギャラリー	233 会津坂下町立坂下東幼稚園	234 認定こども園 ぼだい樹西こども園 西保育園 235 尾瀬書美術館「思郷館」 236 いわき芸術文化交流館アリオス	237 地形舞台 238 檜枝岐歌舞伎 伝承館千葉之家	239 福島トヨタ自動車株式会社 本社 240 浪江 in 福島ライブラリー きぼう 241 相馬井戸端長屋
27	32	50 件	242 矢吹町立矢吹中学校	243 菊池眼科	244 二本松市立とうわこども園 245 アルテマイスター保志 246 かなや幼稚園	247 IDCフロンティア 福島白河データセンター 248 会津坂下町 気多宮 街なみ交流センター 249 喜多市 地域家庭医療センター「ほっと☆きらり」	250 桜の聖母学院 幼稚園園舎 251 飯坂温泉「なかむらや旅館」 252 日本全業工業株式会社 研修管理棟
28	33	52 件	253 はじまりの美術館	254 喜多方市役所	255 Angelica Garden 256 道の駅あいづ 湯川・会津坂下 257 相馬 こどものみんなの家	258 LARGE LAB TOWN 259 有限会社 松坂屋商会 260 西会津町立西会津小学校	261 南相馬市 大町東団地・大町西団地 262 LVMH 子どもアートメゾン 263 福島県漁業協同組合連合会 地方卸売市場 小名浜魚市場
29	34	62 件	264 あぶくま更生園	265 宮畑遺跡史跡公園 体験学習施設(じょいもん)	266 国見町庁舎 267 北会津こどもの村 幼保育園 268 BLUE MUG COFFEE	269 曙プレーキ福島製造株式会社 桃苑寮 270 喜多方市立熊倉小学校 体育館 271 福島県買取型復興公営住宅 関船団地	272 飯館村災害公営住宅 飯野野団地 273 K I K 'B 274 矢吹町営 中町第一災害公営住宅
30	35	54 件	275 矢吹町営 中町第二災害公営住宅	276 矢祭町立 矢祭小学校	277 二本松市城山 市民プール 278 郡山ヘアメイク カレッジ 279 白河文化交流館「コミネス」	280 作左工門 281 大正ロマンの館 282 びわのかけ屋内運動施設 こども投球練習場	283 半勝陶器店 勝義窯 284 南相馬 みんなの遊び場 285 からすや食堂
元	36	57 件	286 天正坦のアトリエ	287 認定こども園 なこそ幼稚園	288 ふたば富岡社屋 289 認定こども園 リのひら 290 南会津町庁舎	291 鈴木家主屋 292 マイタウン白河(中心市街地市民交流センター) 293 喰丸小	294 山木屋地区復興拠点商業施設「とんやの郷」 295 東洋学園 児童部・成人部 296 復興公営住宅 勿来酒井団地
3	37	63 件	297 須賀川市民交流センター tette	298 スマートシティ AiCT	299 塙町立はなわこども園 300 いわきワイナリー ガーデンテラス 301 広野こども園(ひろぱーく)	302 蔵の郵便局(枋窪簡易郵便局) 303 石川町文教福祉複合施設 モトガッコ 304 NIPPONIA 榎山集落	305 みんなの交流館 ならば CANvas 306 葛尾村復興交流館 あぜりあ ロハス蔵 307 福島県立ふたば未来学園中学校・高等学校

※市町村名については、作品募集時での名称で記載しています。



この印刷物は、再生紙と
地球環境にやさしいベジタブルインクを
使用しています。